

【研究名】

REALITY-AHF study と AKINESIS study のデータベース統合解析による 日本と欧米の比較研究（多機関共同研究）

当院では、2014年8月1日から2017年1月31日に当院に入院された心不全の患者様を対象として、病気の特徴や治療方法の違いを欧米の患者さんと比較する研究を行います。

本研究の対象者に該当する可能性がある方で、診療情報等をこの研究に利用されることをご希望されない場合は、下記の研究担当者までお知らせください。

【研究の目的】

心不全とは、心臓のはたらきが悪くなったために息切れやむくみが起こり、徐々に悪化して命を脅かす病気です。息切れやむくみが急に悪くなった状態を急性心不全と呼び、利尿薬によってむくみをとることが重要な治療の手段です。急性心不全に対する治療の内容や治療効果が人種や地域によって違いがあるかははっきりとわかっていません。この研究では日本の急性心不全患者のコホート研究である REALITY-AHF 試験(1)と、欧米のコホート研究である AKINESIS 試験(2)のデータを統合し、急性心不全患者に対する治療やその効果の違いを比較します。

【研究対象者・該当期間】

2014年8月1日から2017年1月31日に当院を受診され、REALITY-AHF 試験に参加された方を対象とします。

【個人情報の取扱いについて】

本研究で使用するデータは名前、住所、電話番号など、個人を特定できる情報は削除した状態で保管、解析されます。登録された情報は共同研究の主研究機関である三井記念病院循環器内科にて厳重な管理のもと保管されます。本研究の研究成果は学会等で発表を予定していますが、個人が特定される形で情報が公開されることはありません。

【研究担当者】

循環器科医師 平沼 永敏

【その他】

- 今回の研究の実施にあたっては、主研究機関である三井記念病院循環器内科の一括審査を経て、当院の長より許可を受けています。
- REALITY-AHF 試験により収集された患者情報(年齢、性別、入院中の検査・治療内容、予後など)を用いて解析します。研究に伴う追加の検査等はありません。
- この研究では、主研究機関である三井記念病院において仮名加工情報の状態で厳重に管理されます。
- この研究に関連して開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
- この研究への協力を拒否された場合でも、以後の診療において何ら不利益を受けることはありません。